

要 旨

金子 吉一

「黄帝内经」は「神農本草経」「傷寒論」と共に漢方の3大原典とされています。中でも「黄帝内经」は養生法、漢方理論、鍼灸治療法などその内容が多岐にわたっており、理解するのも難しいとされています。

日本でも、かなり意識したものや、要点をまとめたものはよく見かけますが、原本をそのまま訳したものはあまり見かけないように思います。

この度、九州漢方研究会の夏季研修会でも講演していただいた 故 小寺敏子先生の【訓読】の本「和訓 黄帝内经素問」を参考に、「黄帝内经素問」を訳してみました。

参考になりましたら幸いです。

また、その解釈はどうか?と思われましたら、ご指摘の程よろしく願いいたします。